



今後、必ず発生すると予想される大地震。想像してみましよう。今、大きな地震が起きたら：そのとき、一人でいたら？大切な誰かといったら？あなたは災害と戦えますか？大切な誰かを守ることができそうですか？

今月から隔月で、防災に関するコラムをお届けします。

災害を知り、災害に備えることをみんなで考えていく、『みんなで作る防災』。一緒に身を守る力をつけていきましょう。

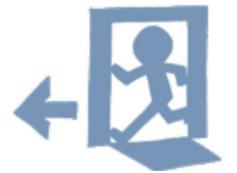
〜知っておこう〜  
**「避難準備情報」などの名称変更**

昨年熊本地震、鳥取地震、台風といった自然災害、火災による人的災害などさまざまな災害が発生しました。いずれの災害でも高齢者の避難体制に注目が集まりました。

**災害時発生時、皆さんがとるべき行動**

<b>避難指示 (緊急)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直ちにその場から避難する。</li> <li>・外出が危険な場合、建物内のより安全な場所に避難する。</li> </ul>
<b>避難勧告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所へ避難する。</li> <li>・地下空間にいる場合、速やかに安全な場所に避難する。</li> </ul>
<b>避難準備・高齢者等避難開始</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも避難ができるよう準備をする。</li> <li>・身の危険を感じる人は、避難を開始する。</li> <li>・避難に時間を要する人(高齢の方、障がいをお持ちの方、乳幼児をお連れの方など)は避難を開始する。</li> </ul>

特に台風による災害では、高齢者施設で適切な避難行動がとられていなかったことなどから、多くの方が被災しました。今後、このようなことを繰り返さないためにも、高齢者などが避難を開始する段階であるということを明確にするため、「避難準備情報」が「避難準備・高齢者等避難開始」という名称に変更となりました。



**科学館で タイムトラベル!**

『地球46億年、あなたにつながるストーリー』なんのことだろう?と思つた方もいるかもしれません。実はこれは、生命の海科学館の展示のテーマです。

海で誕生した生命は、進化の歴史の中で大型化していきました。さまざまな形の生物が誕生し、一部の生物は体を支える「背骨」を手に入れました。海から陸上に進出した生物もいました。

その中で、クジラたちはもう一度海の中で生活するようになりました。一方、ヒトは、陸上で二足歩行するようになりました。科学館三階の展示室を歩くと、そんな生命の歴史をたどることができま

す。

過去から現在へと旅する展示室の「ファイナレ」が「アウストラロピテクスの足跡」です。アウストラロピテクスと呼ばれる初期の人類は、どんな人たちだったのでしょうか。展示されているシルエットはアウストラロピテクスの大人の女性の大きさということですが、

だいたい現在の小学3年生くらいです。展示されている足跡に自分の足を重ねると、私たちが私たちになるまでにどんなドラマがあつ



たのか、と思わず想像を巡らせてしまいます。

三階展示室は有料なので入りにくいなあ、と思つていませんか? 市民の方なら、100円で作成できる有効期限なしの市民利用証で、また小・中学生はほの国パスポートで、入場無料となります。ぜひ、家族一緒に生命の歴史の旅を楽しんでみてください。

**生命の海から**

専門員 白瀧千夏子

生命の海科学館  
 ☎ 66♦1717